

令和5年度

放課後子ども教室事業に関するアンケート

【対象：放課後子ども教室実施団体スタッフ】

集計結果

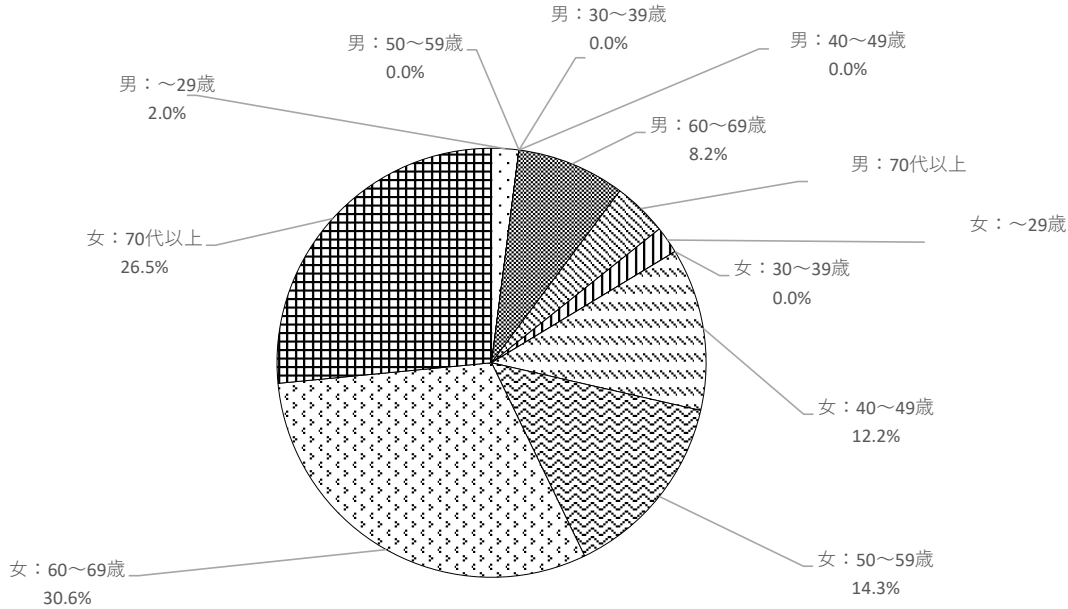
調査期間：令和6年1月15日から2月15日まで
調査対象者：放課後子ども教室実施団体スタッフ
（協働活動支援員）
アンケート対象者：118名
アンケート提出者：49名
アンケート回答率：41.5%

集計結果一覧

設問1 性別と年齢について、該当するものをお選びください

男： ～29歳	男： 30～39歳	男： 40～49歳	男： 50～59歳	男： 60～69歳	男： 70代以上
1	0	0	0	4	2
2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.2%	4.2%

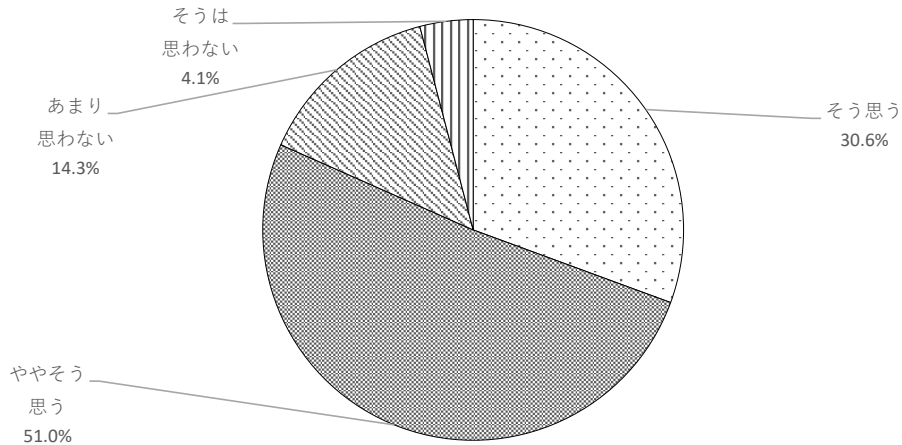
女： ～29歳	女： 30～39歳	女： 40～49歳	女： 50～59歳	女： 60～69歳	女： 70代以上	計
1	0	6	7	15	13	49
2.0%	0.0%	12.2%	14.3%	30.6%	26.5%	100.0%



設問2 放課後子ども教室を実施したことによって、参加している子どもたちの様子や態度に何か変化は見られましたか？
それぞれの項目について、該当するもの1つをお選びください。

1 体を動かして遊ぶ子どもが増えた

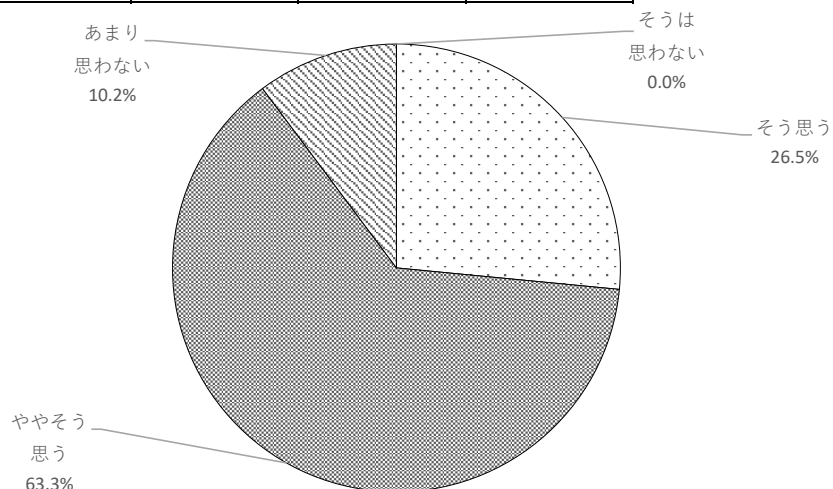
そう思う	ややそう 思う	あまり 思わない	そうは 思わない	計
15	25	7	2	49
30.6%	51.0%	14.3%	4.1%	100.0%



81.6%が地域の子どもたちが体を動かして遊ぶことについて肯定的変化を認識している。

2 自分たちで考え、工夫して遊ぶことが増えた

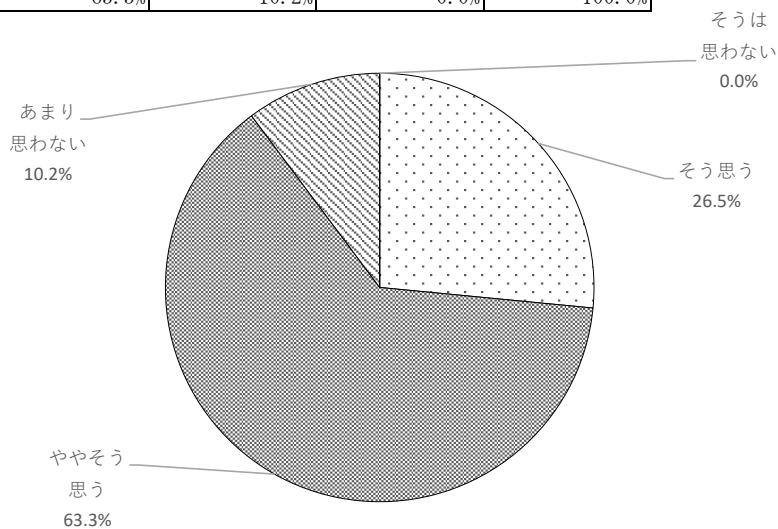
そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そうは思わない	計
13	31	5	0	49
26.5%	63.3%	10.2%	0.00%	100.0%



89.8%が地域の子供達遊びの創造性について肯定的変化を認識している。

3 誰とでも遊ぶようになった

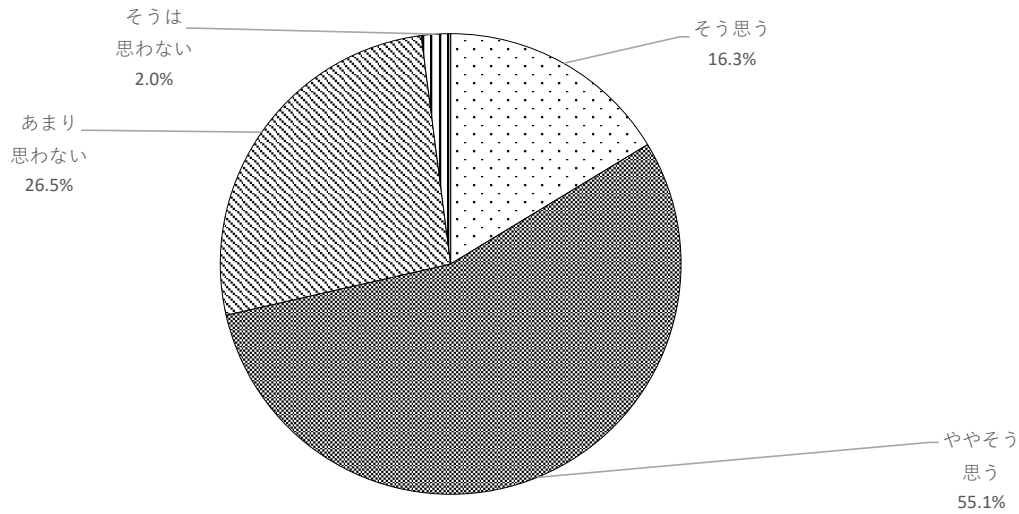
そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そうは思わない	計
13	31	5	0	49
26.5%	63.3%	10.2%	0.0%	100.0%



89.8%が地域の子供たちの積極性について肯定的変化を認識している。

4 自分より年下の子ども面倒をよく見るようになった

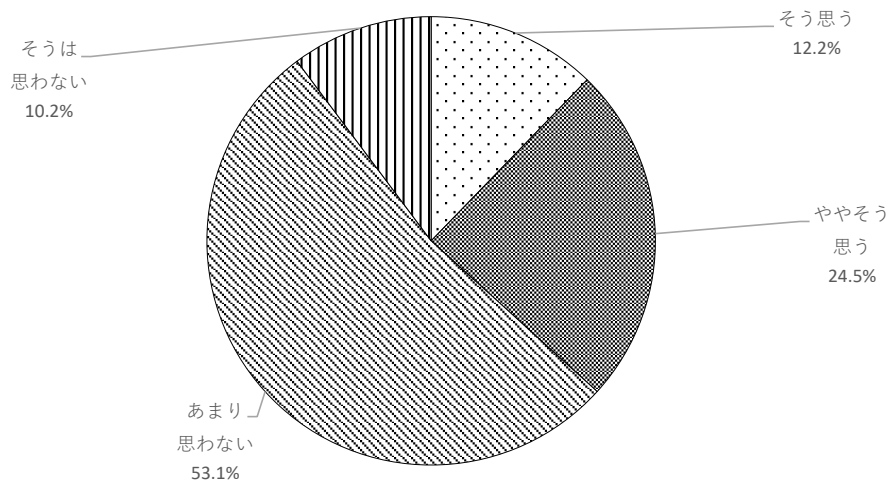
そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そうは思わない	計
8	27	13	1	49
16.3%	55.1%	26.5%	2.1%	100.0%



71.4%が地域の子供達の子の面倒見について肯定的変化を認識している。

5 後片付けなど様々なことに積極的に取り組むようになった

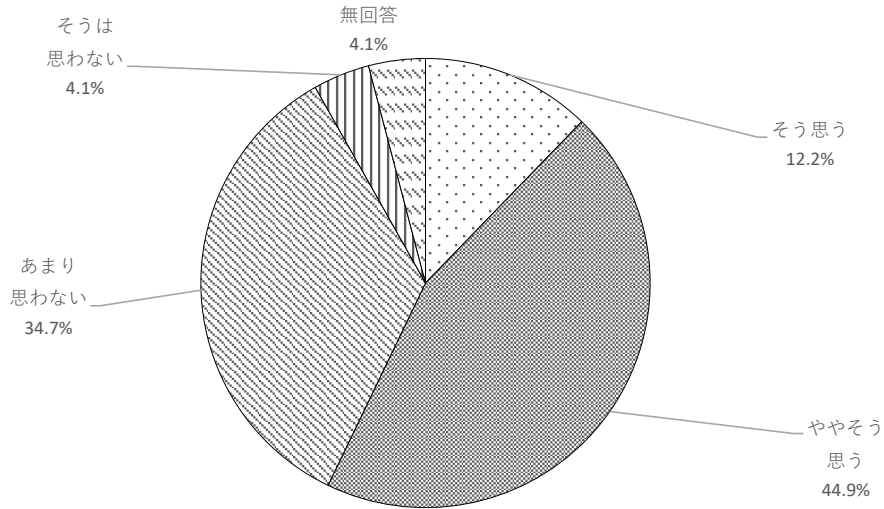
そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そうは思わない	計
6	12	26	5	49
12.2%	24.5%	53.1%	10.2%	100.0%



地域の子供達の整理整頓などについての肯定的変化の認識は36.7%に止まった。

6 地域の大人にあいさつしたり話したりするようになった

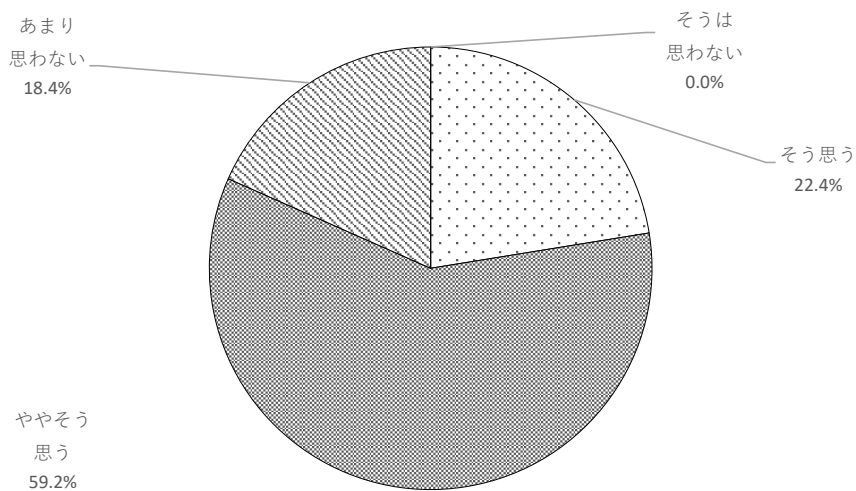
そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そうは思わない	無回答	計
6	22	17	2	2	49
12.2%	44.9%	34.7%	4.1%	4.1%	100.0%



57.1%が地域の子どもの大人との交流についての肯定的変化を認識している。

7 活発で明るくなった

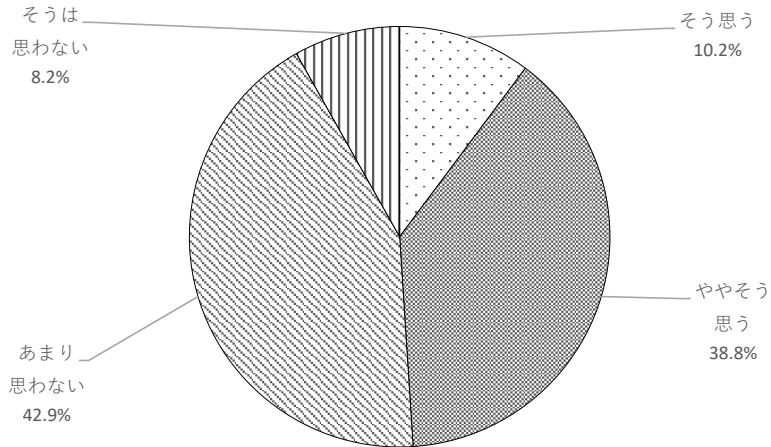
そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そうは思わない	計
11	29	9	0	49
22.4%	59.2%	18.4%	0.0%	100.0%



81.6%が地域の子どもの活発さについて肯定的変化を認識している。

8 落ち着いた行動がとれるようになった

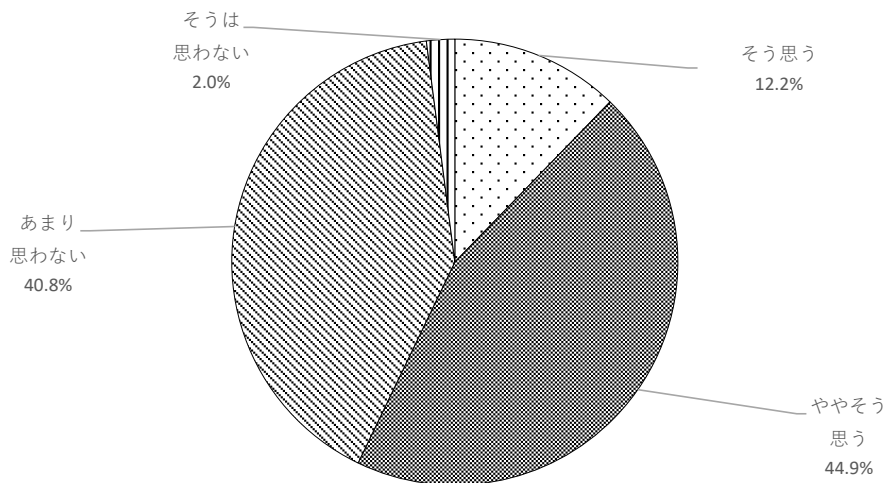
そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そうは思わない	計
5	19	21	4	49
10.2%	38.8%	42.8%	8.2%	100.0%



地域の子どもたちの落ち着きについての肯定的変化の認識は49%に止まった。

9 相手を思いやったり、気を配ったりするようになった

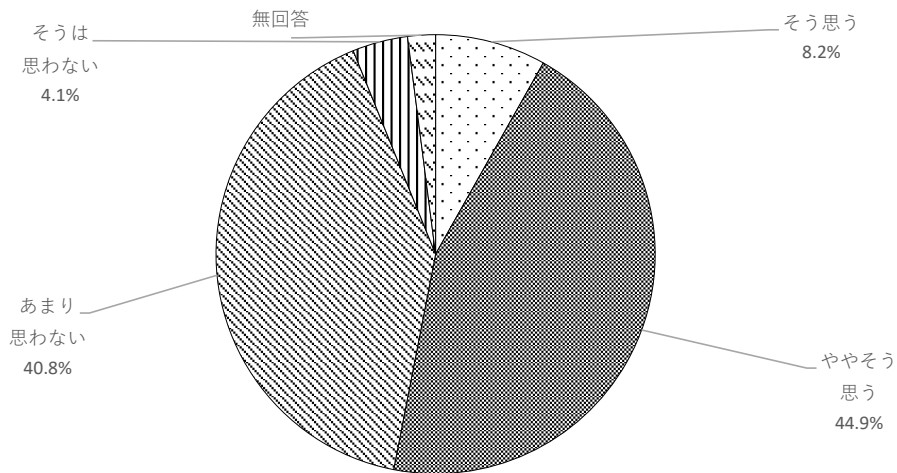
そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そうは思わない	計
6	22	20	1	49
12.3%	44.9%	40.8%	2.0%	100.0%



57.2%が地域の子どもたちの気配りや思いやりについて肯定的変化を認識している。

10 ルールや決まりを守れるようになった

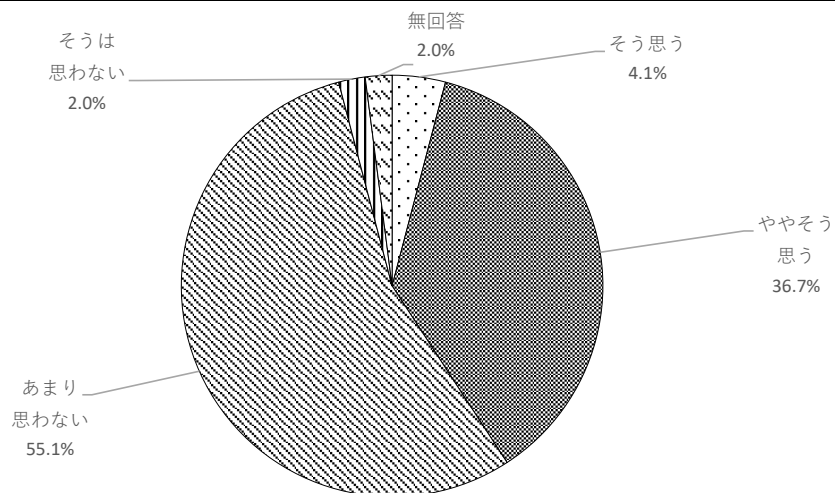
そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そうは思わない	無回答	計
4	22	20	2	1	49
8.2%	44.9%	40.8%	4.1%	2.0%	100.0%



53.1%が地域の子どもたちのルールや決まりを守ることについての肯定的変化を認識している。

11 良い言葉遣いや礼儀正しい行動がとれるようになった

そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そうは思わない	無回答	計
2	18	27	1	1	49
4.1%	36.7%	55.1%	2.0%	2.0%	100.0%



地域の子どもたちの礼儀作法や言葉遣いについての肯定的変化の認識は43.8%に止まった。

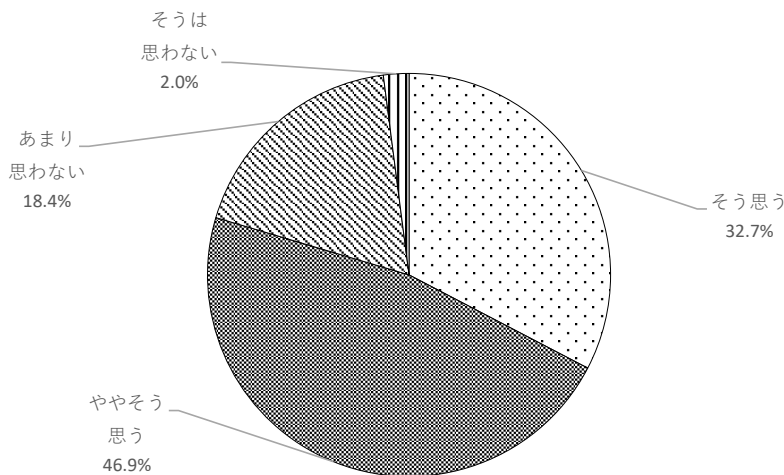
設問3 設問2の項目以外で気づいた変化がありましたら、その内容をご記入ください。

- 学校を休んで居たが(自ら話してくれた) 子ども教室では居合わせた子どもらと遊んでいて、その後学校にも行けるようになった様子。気持ちが解放される場としての居場所を求めていることが窺える。
- 学校と家庭よりもリラックスしているようです。
- 人数が少ないので、あまり変化はありません。できる子できない子といます。
- 言葉遣いについて気になる。面倒くさそうに、また乱暴に答える。注意したことに素直に聞いてくれない子も多い。
- スタッフとだけ遊ぶ子どもがいるが声がけをすると、こども同士で遊べるようになった。
- 言葉が乱暴だったり、傍若無人な行動をする子が以前と比べて多い。
- 言葉ではなく暴力で自分の言いたいことを訴える子どもが多いように感じる。
- 読書をするようになりました。移動図書の本を手にするようになりました。
- 学校の先生とは違うため緊張感無く接しているためか、それはそれで良いのだが近所のおばちゃんとかしか思っていない所も見受けられる?子供達との距離、関係性が難しい
- 同学年同士で遊ぶ事が多い、鬼ごっこや隠れんぼが、低学年は好きで、お互いにルールを変えたりして遊んでいる。

設問4 放課後子ども教室に携わったことによって、あなた自身の気持ちや暮らし方などで日頃感じていることはありますか?それぞれの項目について、該当するものをお選びください。

1 地域でいろいろな子どもに声をかけ、交流を持つようになった

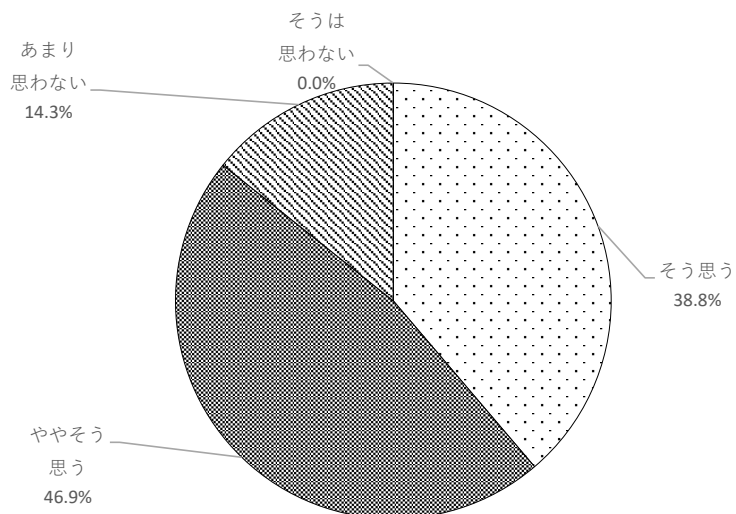
そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そうは思わない	計
16	23	9	1	49
32.7%	46.9%	18.4%	2.0%	100.0%



72.7%が地域の子供との交流について自身の肯定的変化を認識している。

2 地域の人とあいさつを交わしたり、よく話したりするようになった

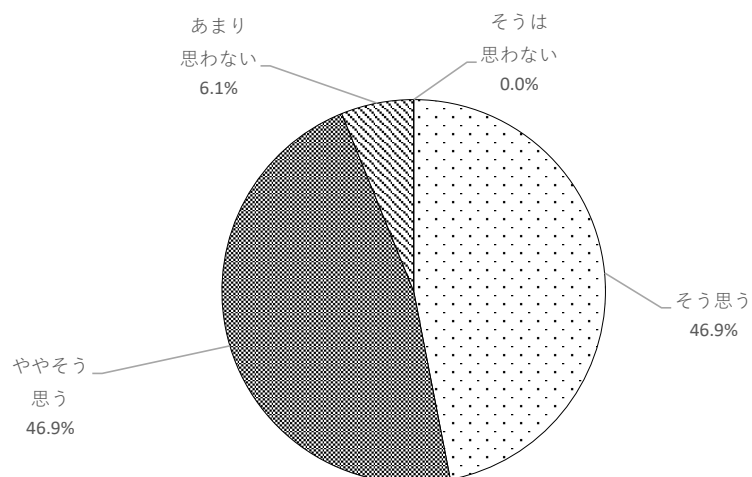
そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そうは思わない	計
19	23	7	0	49
38.8%	46.9%	14.3%	0.0%	100.0%



79.2%が地域住民との交流について、自身の肯定的変化を認識している。

3 地域の子どもに対する意識や関心が高くなった

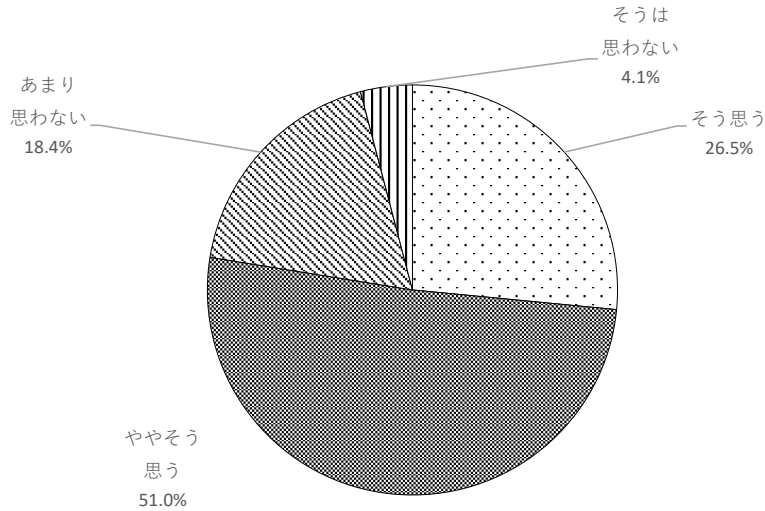
そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そうは思わない	計
23	23	3	0	49
46.9%	46.9%	6.1%	0.0%	100.0%



93.5%が地域の子どもに対する意識や関心について自身の肯定的変化を認識している。

4 地域行事や活動などに積極的に参加するようになった

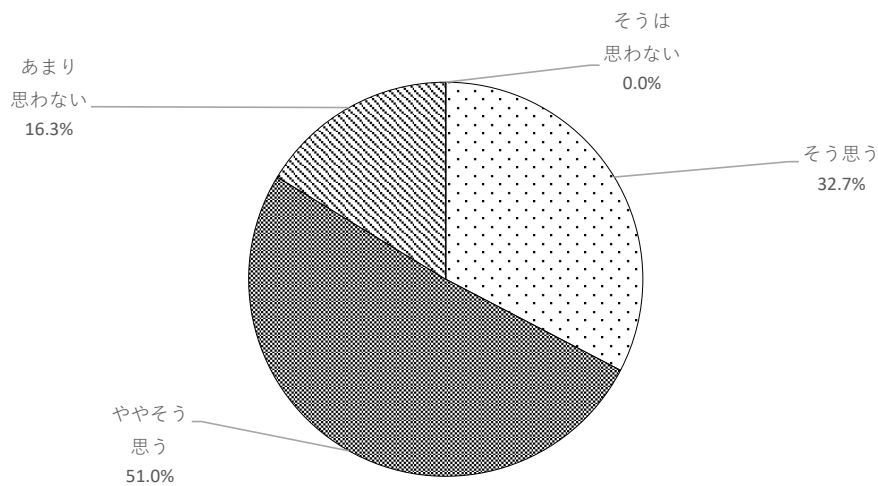
そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そうは思わない	計
13	25	9	2	49
26.5%	51.0%	18.4%	4.1%	100.0%



63.7%が地域行事等への参加について、自身の肯定的変化を認識している。

5 地域の学校や子どもの集まる施設について意識や関心が高くなった

そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そうは思わない	計
16	25	8	0	49
32.7%	51.0%	16.3%	0.0%	100.0%



81.1%が地域の学校や子どもの集まる施設について、自身の意識の肯定的変化を認識している。

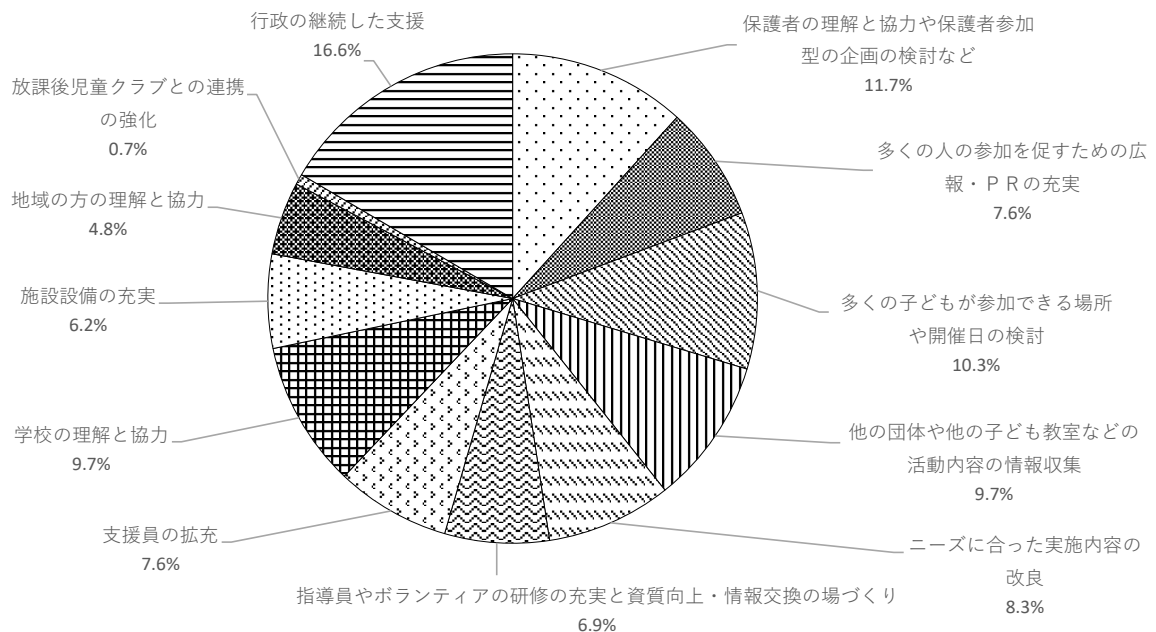
設問5 設問4の項目以外で気づいた変化がありましたら、その内容をお書きください。

- 子どもの気持ちに寄り添う思いが、より高まった
- 保護者と子どもの関わり方について考えさせられるようになった。保護者の態度で気になるところもある。(挨拶をしないなど)
- スタッフを経験し、どの子どもにも、上から目線で見ることがなくなった。
まずは、子どもの意見を聴くことができる。
空気のように見守ることができるようになった。
- 設問の項目回答項目が抽象すぎて回答が当てはまらない所がある
- 思いやりや気配りの出来る子供達が沢山いる。
- 子供が少なくなったのが心配

設問6 今後、放課後子ども教室の取り組みをより充実、継続していくためにはどのようなことが重要だと思いますか。該当するものを3つまでお選びください。

保護者の理解と協力や保護者参加型の企画の検討など	多くの人の参加を促すための広報・PRの充実	多くの子どもが参加できる場所や開催日の検討	他の団体や他の子ども教室などの活動内容の情報収集	ニーズに合った実施内容の改良	指導員やボランティアの研修の充実と資質向上・情報交換の場づくり
17	11	15	14	12	10
11.7%	7.6%	10.3%	9.7%	8.3%	6.9%

支援員の拡充	学校の理解と協力	施設設備の充実	地域の方の理解と協力	放課後児童クラブとの連携の強化	行政の継続した支援	計
11	14	9	7	1	24	145
7.6%	9.7%	6.2%	4.8%	0.7%	16.5%	100.0%



「行政の継続した支援」が16.5%と最も多い。また、「学校の理解と協力」、「保護者の理解と協力や保護者参加型の企画検討など」が10%超となっている。

設問7 ご参加いただいている放課後子ども教室の取り組みで、他の教室に紹介したいこと・ものがあればご教示ください。
(例：野菜作り、老人クラブとの交流、地域の伝統芸能の継承など)

- バレンタインデーのチョコ作り
- 子どもの意見、希望を汲み取り、共に話し合い後押しして企画を実現に～ex バレンタインのチョコレート作り?
- 季節感を養う期待を込めて月替わりで壁紙を作っています。ただし、制作は希望児童のみとし、学校よりもリラックス出来ることを大切にしています。
- 取り組みはしていません。
- プログラムのない居場所なので、ゆったりとした開放的な空間となっている
- トマト、さつまいもの栽培
- 地域のお年寄りとの交流
- 子ども教室としてではないが、振興会主催の世代間交流事業に地区内の児童の参加を積極的に行っている。令和5年度は小正月行事「みずきだんご」を実施した。
- 老人クラブとの交流

設問8 その他、ご意見などあればご記入ください。

- 指示待ちの人間ではなく、自らの考えで行動できる人に育って欲しいものです。それこそが生きる力ですね。それには大人を信じられる子どもに。つまり信じてもらえる大人でなければなりませんね。
- 研修会は、木曜日を外して欲しいです。また、午前中の研修会でも、終わりを11:30くらいにして欲しいです。
12時に終わると職場への移動が大変です。
- 子どもの居場所の認知度が低いと感じました。私自身も子育てをしていた頃は、居場所の存在を知りませんでした。子どもの居場所をみんなに知ってもらうために、学童と違うことを含め、チラシ等でみんなに認知されれば良いと感じました。
- 子ども教室が親のニーズに合えば地域以外からの参加も良いのかも?
- アンケートの集計結果を報告してほしい。
- 参加児童が減る一方なので子供の数が少ないなら少ないなりに興味を持つような子供教室の在り方を考える必要がある!
- 子ども教室に通う児童数を増やす方法を考えてほしい
- 平日、下校してから居場所で遊ぶ時間が限られているのもう少し長い時間遊べるようにする事でもっと色々な子どもが参加できるのではないかと思います。
- 放課後子供教室の本来の目的がなくなっています。人数が少なく、遊びも少人数でやるしかない。自主的なものはありません。できないのですから。学校でまもっていると思うルールもここにきたらなし、学校ではシャーペン禁止、放課後はつかいほうだい。子どもたちが指導者にたいして、敬意をもってせつしている、かんじません。支援が必要な子どももいるので、学校や親と指導者のなかでの共通理解をもっていかなければ事故に繋がるおそれがあります。このままの人数であれば子ども教室の必要性がないとかがえる。
- 利用者が少なく(3人)活動内容が狭まれる。もう少し人数があれば楽しく遊べることもあるようです。利用者数の最低人数とかはないのでしょうか。
- 子供が楽しく遊ぶための工夫が必要かな?
- 人数が少なくどうしたらもう少し人数が集まるのかと思う
- 子どもの人数の減少もあり年々参加人数が少なくなってきました。より魅力あり子ども達がさんかしたくなるような教室になるよう工夫したり考えていく必要があると思います。